



2021年3月期決算説明資料

(2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日)

2021年6月4日

リズム株式会社

(東証一部 7769)

I 2020年度決算の総括

II 2019-2020年度 中期経営計画の振り返り

III 2021年度 修正中期経営計画

IV トピックス

(注)

・本資料中、特段の注記がある場合を除き、金額は切り捨て、年は事業年度(4月～翌3月)を表します。

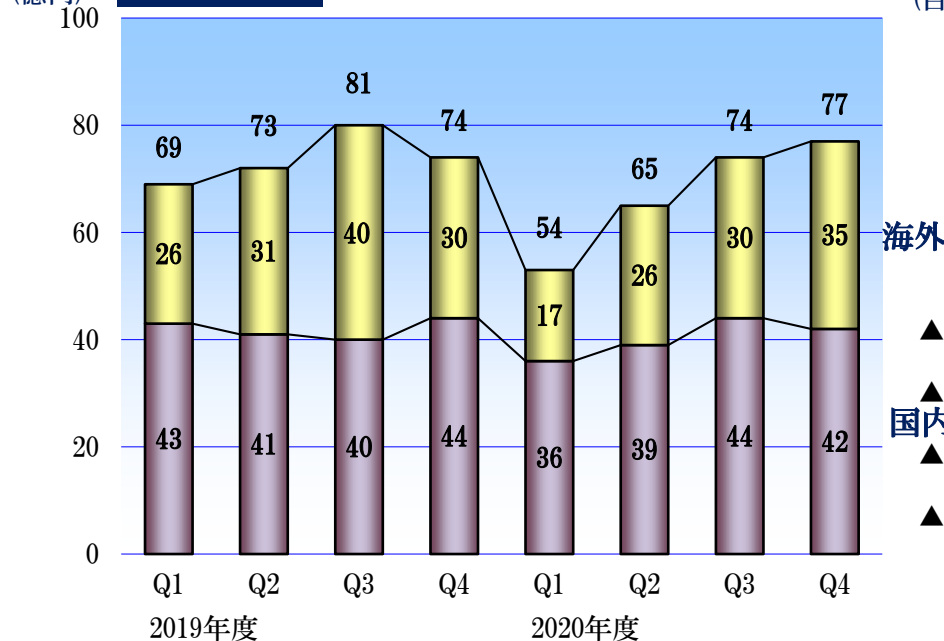
I 2020年度決算の総括

2020年度決算のポイント ～業績改善に向けた取り組み～

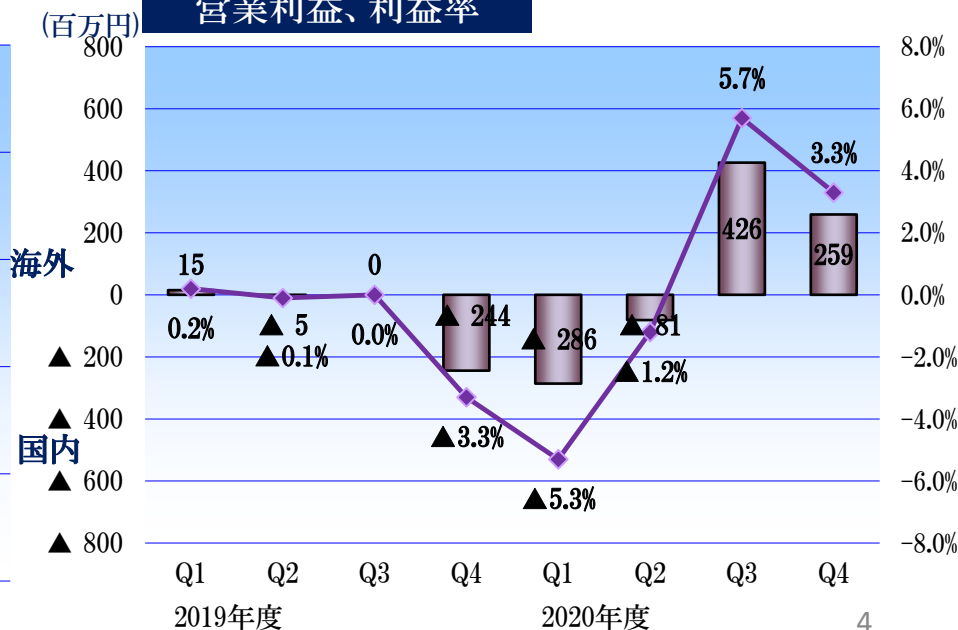
早期退職を実施し最終赤字も、下半期は業績改善に向けた各種施策の効果が表れ、上半期の営業・経常赤字から通年黒字化。

- ✓ 三社合併
- ✓ 組織改編(事業別組織から機能別組織へ)
- ✓ 早期退職
- ✓ 時計事業改革
(中国への生産集約、在庫削減、製品戦略の見直し(選択と集中)、
「快適品」や防災行政ラジオの拡販、徹底的な費用削減)
- ✓ 不採算案件からの撤退
- ✓ 車載・家電・工作機器関連部品の受注回復

売上高



営業利益、利益率

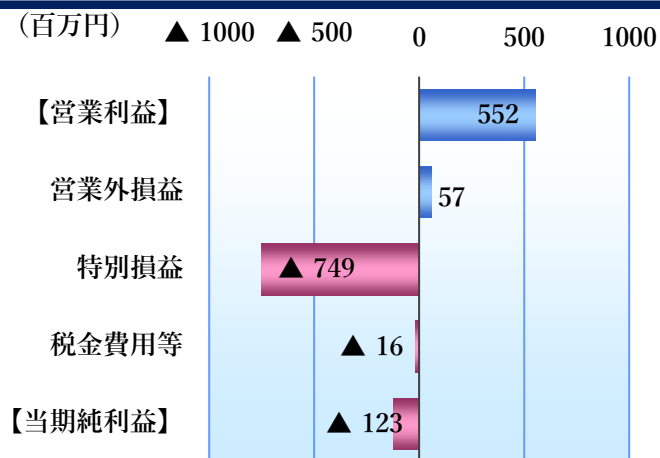


損益計算書

(百万円)	2019年度	2020年度	前期比増減
売上高	29,911	27,304	-2,606
国内売上	17,056	16,388	-668
海外売上	12,854	10,916	-1,938
海外売上比率	43%	40%	-3%
営業利益	-234	318	552
営業利益率	-0.8%	1.2%	2.0%
経常利益	-22	588	610
経常利益率	-0.1%	2.2%	2.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	-1,139	-1,262	-123
当期純利益率	-3.8%	-4.6%	-0.8%
1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益(円)	-137.92	-152.90	-14.98
期末日為替レート(US\$=¥)	108.83	110.71	1.88
期中平均為替レート	109.05	105.96	-3.10

(百万円)	当期計上額	前期比 利益インパクト
【営業外損益】		
受取配当金	61	-22
雇用調整助成金	106	106
受取賃貸料	316	-18
賃貸費用	140	-4
出向費用	50	61
【特別損益】		
和解金	0	100
早期退職関連費用	1501	-1501
減損損失	0	562
投資有価証券評価損	9	73

当期純利益増減内訳



各事業の総括①

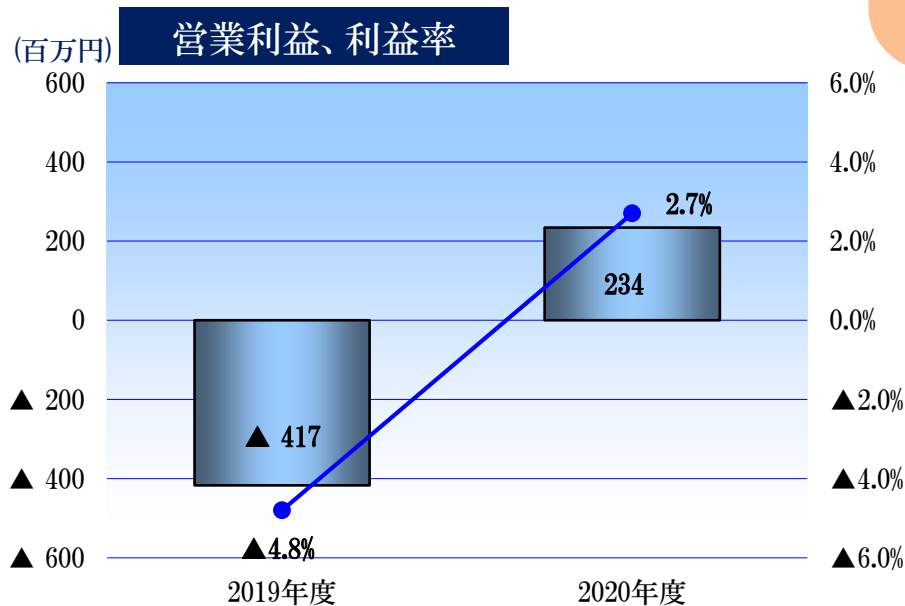
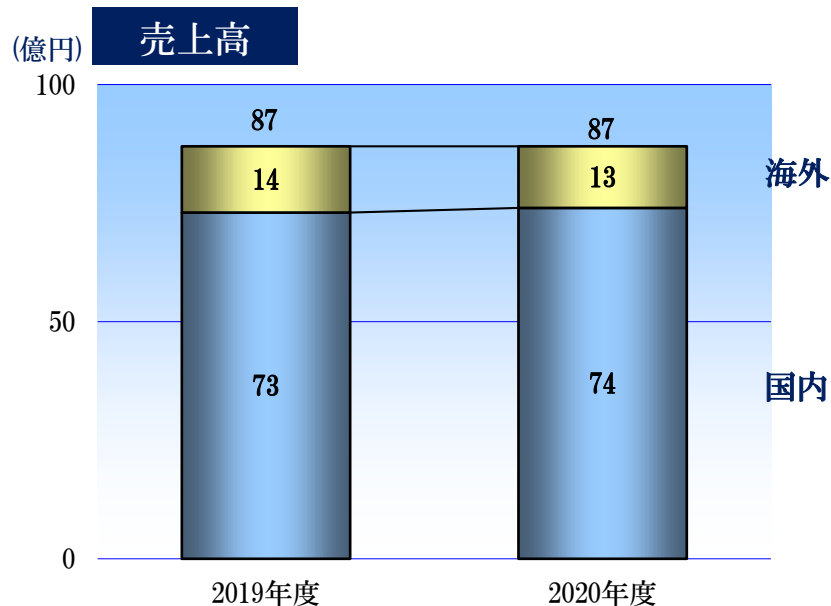
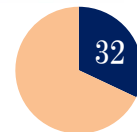
(百万円)	2019年度		2020年度		前期比 増減
	実績	%	実績	%	
売上高	29,911	100%	27,304	100%	-2,606
時計事業	8,764	29%	8,717	32%	-47
接続端子事業	9,179	31%	8,075	30%	-1,104
プレジジョン事業	11,608	39%	9,882	36%	-1,725
その他	358	1%	629	2%	270
営業利益	-234	-0.8%	318	1.2%	552
時計事業	-417	-4.8%	234	2.7%	651
接続端子事業	614	6.7%	428	5.3%	-186
プレジジョン事業	45	0.4%	60	0.6%	14
その他	55	15.4%	98	15.7%	43
調整額	-532	—	-503	—	28

※ 売上高欄は構成比、営業利益欄は売上高営業利益率を表します。

※ 計画：2019年5月30日発表『中期経営計画(2019.4～2022.3)』

※ 2020年度より電子事業はプレジジョン事業に統合しました。プレジジョン事業の実績はプレジジョン事業と旧電子事業の合算値を表します。

各事業の総括② 生活用品G(時計事業)



総括

時計事業は、売上は前期比横ばいとなったが、2019年度の営業損失から黒字転換。

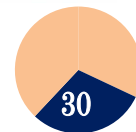
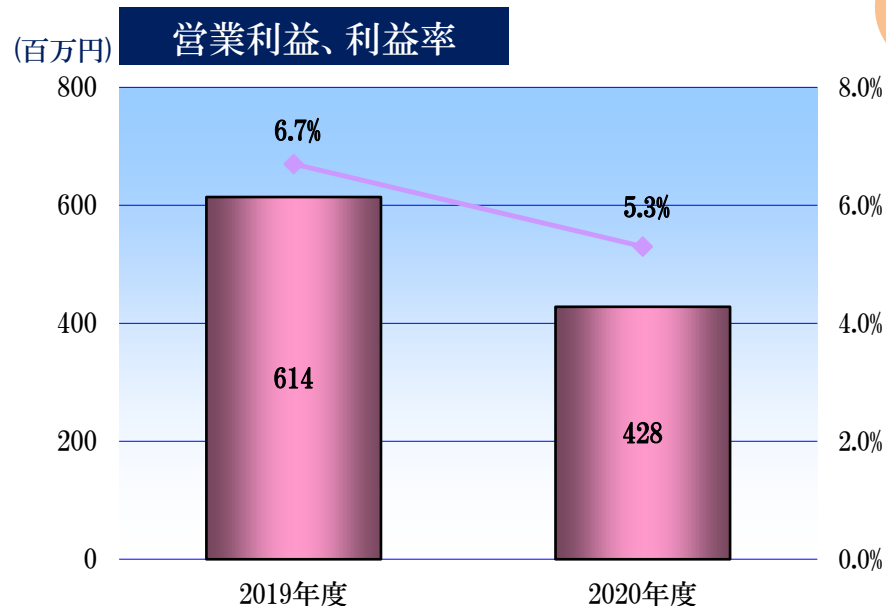
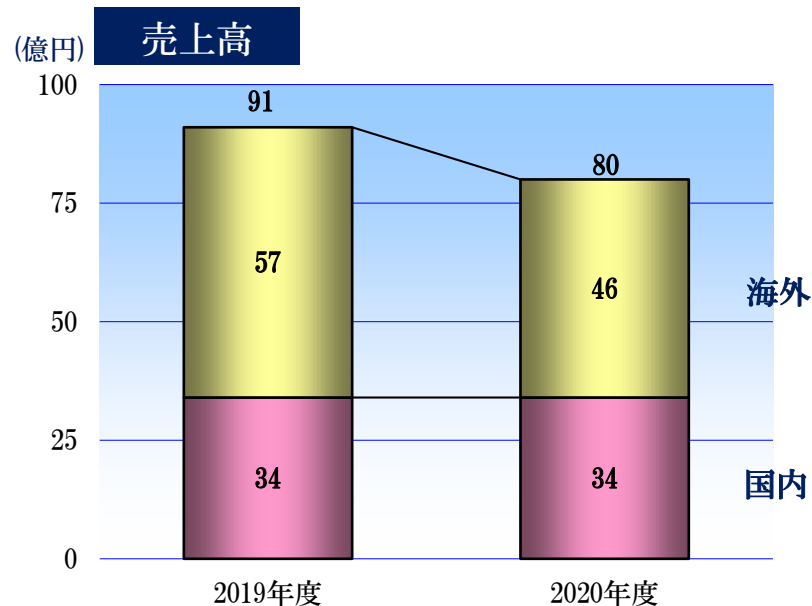
【国内】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、インターネット販売や防災行政ラジオの販売は好調に推移。2019年度買収したINGE売上寄与もあり、売上は微増。
- 2020年度早期退職による固定費削減もあり、営業利益は前期の若干の黒字から拡大。

【海外】

- 中国、香港、台湾などのアジア、米国地区においては、売上回復の動きがみられた一方、一部地域においては依然として新型コロナウイルス感染症による低迷が続き減収。
- 2019年度のベトナムから中国への生産集約、費用削減、原価率改善により、営業利益は2019年度赤字から黒字回復。

各事業の総括③ 精密部品G(接続端子事業)



総括

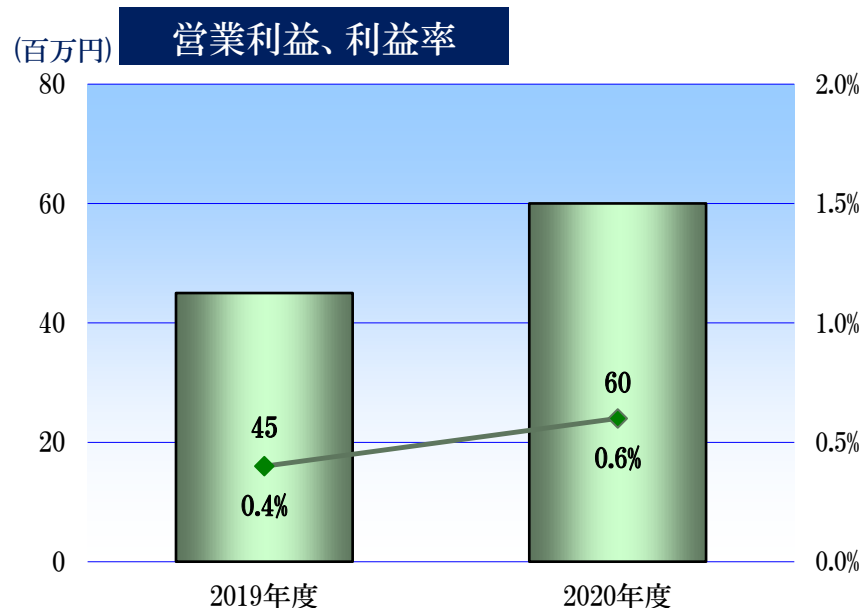
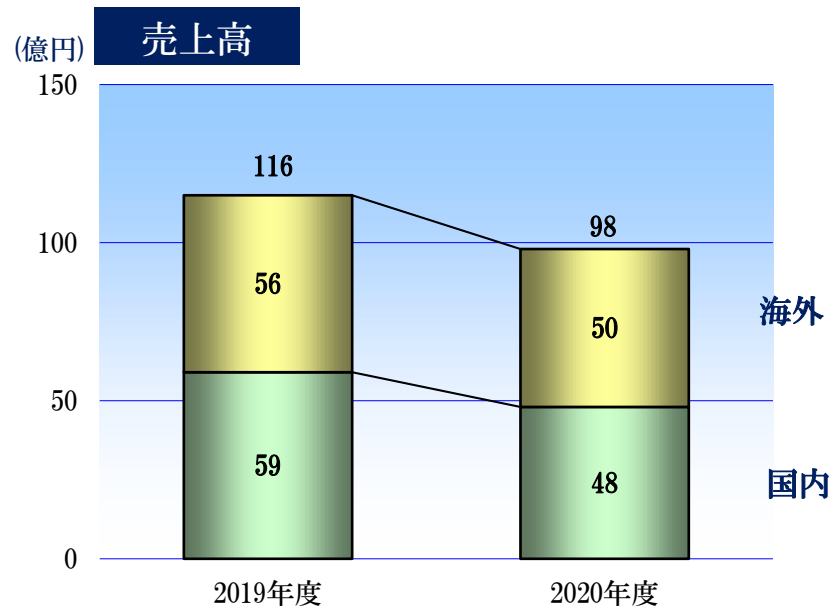
接続端子事業は、特に海外で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、減収減益。

【国内】

- 新型コロナウイルス感染症による顧客生産拠点の稼働停止などから一時受注が低迷したが、2020年度第3四半期より車載関連部品を中心に回復し、売上は前期から横ばい。
- 営業利益は製造原価、販管費の改善によって増益。

【海外】

- 中国、シンガポールでは車載関連部品、家電関連部品が好調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症によるインドネシア・ベトナムの行動制限に伴う顧客生産拠点の稼働率低下や、二輪・四輪市場の低迷で減収減益。



総括

プレジジョン事業は、減収となるも下半期に業績回復が進み、前年度比わずかに増益。統合した電子事業においては不採算案件から撤退。

【国内】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上半期売上は低調も、下半期には新規案件立上げが進み、また、工作機器関連部品の受注が大幅に回復。しかしながら通期では減収となり、営業損失計上。

【海外】

- 新型コロナウイルス感染症による取引先メーカーの操業停止の影響等があり、中国、ベトナム拠点ともに受注低迷し、減収となったが、販管費の抑制を進め増益。

※ 2020年度より、旧電子事業はプレジジョン事業に統合。上記は、プレジジョン事業に旧電子事業の実績を合算した値を示します。

貸借対照表

	2020年3月末	2021年3月末	2020年3月末増減	主な増減要因
流動資産	22,767	21,827	-940	
現金及び預金	9,647	10,276	629	
受取手形及び売掛金	4,340	4,150	-190	
たな卸資産	6,909	5,469	-1440	
その他	1,870	1,930	60	
固定資産	14,350	13,877	-472	
有形固定資産	9,922	9,539	-383	
無形固定資産	1,138	837	-300	
投資有価証券	1,715	1,912	197	
その他	1,573	1,587	16	
資産合計	37,117	35,704	-1413	
流動負債	7,007	5,142	-1865	
支払手形及び買掛金	2,878	2,938	60	
短期借入金及び1年以内返済長期借入金	593	765	172	
その他	3,536	1,438	-2098	社債償還
固定負債	4,139	5,515	1375	
長期借入金	73	1,510	1436	社債20億円 長期借入金に切替実施
社債	3,000	3,000	0	
その他	1,066	1,004	-61	
負債合計	11,147	10,657	-489	
純資産	25,970	25,046	-923	
資本金	12,372	12,372	0	
資本剰余金	7,584	7,584	0	
利益剰余金	4,860	3,350	-1510	当期純損失、剰余金の配当
自己株式	△274	△275	0	
その他有価証券評価差額金	13	211	198	
為替換算調整勘定及びその他	1,413	1,803	389	
負債・純資産合計	37,117	35,704	-1413	
自己資本比率	69.9%	70.1%	0.2%	

キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2019年度	2020年度	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,675	1,849	173
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,911	-585	1,326
フリーキャッシュ・フロー	-235	1,264	1,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	-208	-686	-478
現金及び同等物の期末残高 (預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)	9,621	10,276	655

営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー	
	2020年度		2020年度		2020年度
減価償却費	1,083	有形固定資産の取得による支出	△657	長期借入れによる収入	2,170
のれん償却額	340			長期借入金の返済による支出	△368
売上債権の増減額 (△は増加)	68			社債の償還による支出	△2,000
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,484			配当金の支払額	△247
仕入債務の増減額 (△は減少)	30				
雇用調整助成金	106				

Ⅱ 中期経営計画の振り返り

(2019年度-2020年度)

2019-2020年度決算の概要

(百万円)	2018年度	2019年度					2020年度					前期比増減 (通期)
	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
売上高	31,016	6,949	7,355	8,114	7,491	29,911	5,444	6,595	7,474	7,790	27,304	-2,606
国内売上	19,359	4,316	4,198	4,063	4,477	17,056	3,685	3,995	4,425	4,282	16,388	-668
海外売上	11,656	2,632	3,156	4,050	3,013	12,854	1,759	2,600	3,048	3,507	10,916	-1,938
海外売上比率	38%	38%	43%	50%	40%	43%	32%	39%	41%	45%	40%	-3%
営業利益	761	15	-5	0	-244	-234	-286	-81	426	259	318	552
営業利益率	2.5%	0.2%	-0.1%	0.0%	-3.3%	-0.8%	-5.3%	-1.2%	5.7%	3.3%	1.2%	2.0%
経常利益	913	101	-20	64	-166	-22	-213	-35	542	295	588	610
経常利益率	2.9%	1.5%	-0.3%	0.8%	-2.2%	-0.1%	-3.9%	-0.5%	7.3%	3.8%	2.2%	2.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	-264	71	-181	-25	-1,003	-1,139	-1,761	-218	390	326	-1,262	-123
当期純利益率	-0.9%	1.0%	-2.5%	-0.3%	-13.4%	-3.8%	-32.4%	-3.3%	5.2%	4.2%	-4.6%	-0.8%
1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益(円)	-31.99	8.66	-22.02	-3.09	-121.47	-137.92	-213.25	-26.41	47.26	39.52	-152.90	-14.98
期末日為替レート(US\$=¥)	110.99	107.79	107.92	109.56	108.83	108.83	107.74	105.80	103.50	110.71	110.71	1.88
期中平均為替レート	110.48	110.94	107.57	108.17	109.53	109.05	107.57	106.81	105.15	104.30	105.96	-3.10

【2019年度】

- 2019年度は減収、営業・経常損失となり、2期連続の当期損失を計上。
- 2019年度第4四半期から新型コロナウイルス感染症の影響。
- 当社時計事業及び全社共用資産、中国子会社などにおいて減損損失を計上。

【2020年度】

- 2020年度は、通期で新型コロナウイルス感染症による景気減速の影響が大きく、受注は回復基調にあるものの大幅な減収。
- 早期退職実施、関連費用1,501百万円計上し、3期連続当期損失計上。
- 受注回復に加え、早期退職による固定費削減効果もあり、営業・経常黒字化を達成。

新型コロナウイルス感染症の流行により、事業を取り巻く環境が大きく変化。
2019年度に続き2020年度も中期計画を大きく下回る。

	2018年度 実績	2019年度		2020年度		2021年度 計画
		計画	実績	計画	実績	
営業利益率	2.5%	2.5%	-0.8%	4.0%	1.2%	5.0%
営業利益	7.61億円	8.00億円	-2.34億円	13.00億円	3.18億円	17.00億円
ROE	-0.9%	1.9%	-4.2%	3.3%	-5.0%	4.3%
ROA	-0.7%	1.4%	-3.0%	2.3%	-3.5%	3.0%
連結売上高	310億円	315億円	299億円	328億円	273億円	340億円
海外売上高比率	38%	42%	43%	46%	40%	50%
期末日為替レート	110.99円	計画為替レート @120円	108.83円	計画為替レート @120円	110.71円	計画為替レート @120円
期中平均為替レート	110.48円		109.05円		105.96円	

※計画：2019年5月30日発表『中期経営計画(2019.4～2022.3)』

- 新型コロナウイルス感染症により、売上高は大幅な減収、計画比マイナスとなり、営業利益、営業利益率も計画を下回る。
- 3期連続当期損失計上によりROE、ROAはマイナス。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を国外でより大きく受けたことから海外売上比率は減少、計画未達。
- 車載売上高2018年度74億円⇒2019年度76億円⇒2020年度67億円(目標110億円)。

Ⅲ 修正中期経営計画

(2021年度)

【外的要因】

- ～新型コロナウイルス感染症、米中貿易摩擦による影響～
- ～国内外時計市場の縮小～
- ～IoT、5G、EVなど新テクノロジーの進展～
- ～SDGs、ESG～

【内的要因】

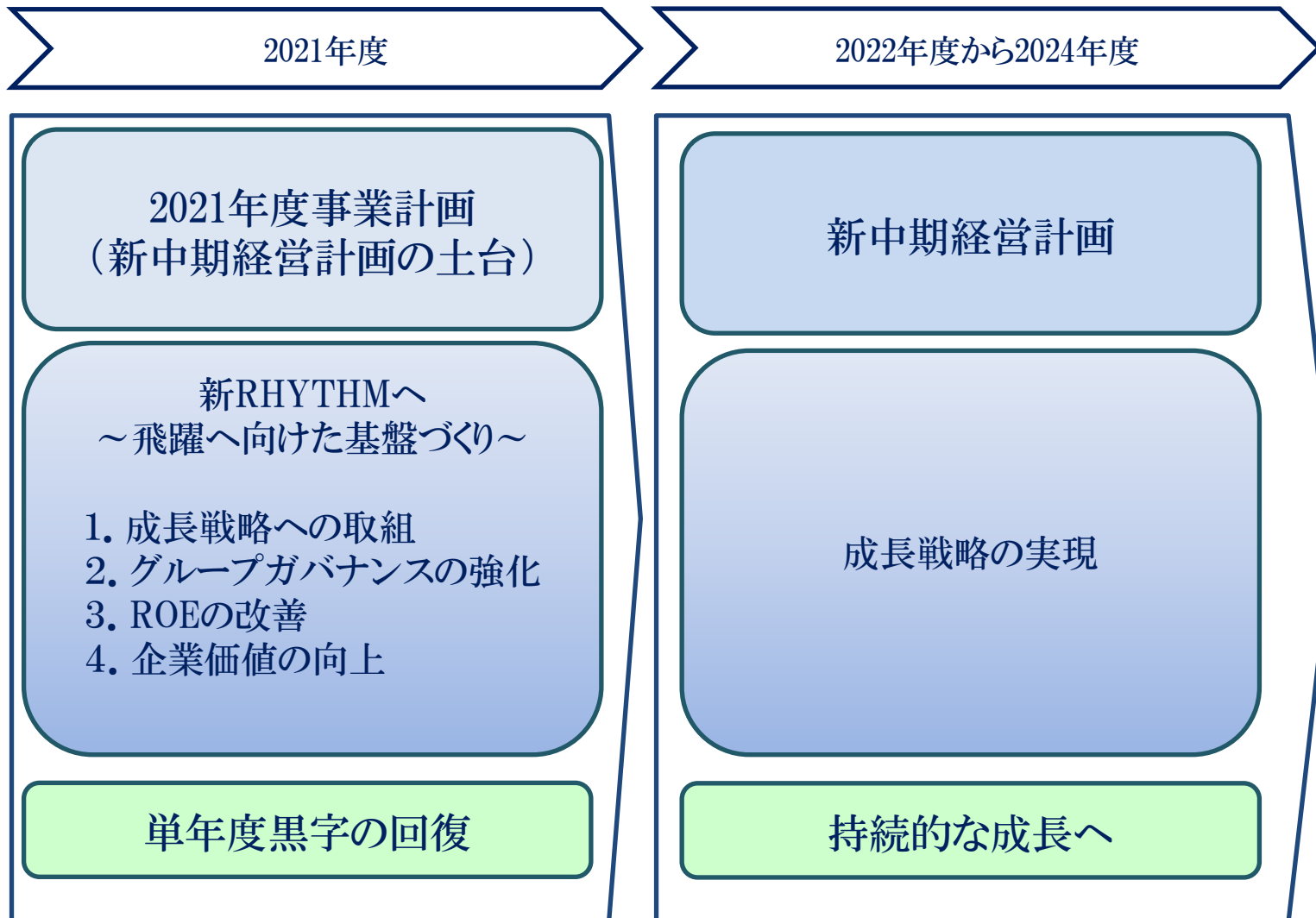
- ～3期連続最終赤字～
- ～国内3社の合併～
- ～組織・セグメントの変更～
- ～社会的信頼回復への取組継続～



【現中期経営計画最終年度(2021年度)】

2022年度からの新中期経営計画につながる土台づくり。

新中期経営計画の土台となる2021年度事業計画



新RHYTHMへ～飛躍へ向けた基盤づくり～

1 成長戦略への取組

新ビジネスの創造、新製品の開発・販売拡大
グローバル戦略の強化
車載関連ビジネスの拡大
生産性の向上

2 グループガバナンスの強化

人材の育成
グループ経営管理の向上

3 ROEの改善

収益力の回復(単年度黒字の回復)
資産の有効活用



4 企業価値の向上

ステークホルダーとのコミュニケーション
SDGs、ESG、CSRの推進

成長戦略への取組

① 新ビジネスの創造、新製品の開発・販売拡大

- 精密部品事業 ・旧東北リズム、旧リズム協伸の合併シナジー効果によるプレスからインサート成形までの一気通貫型ビジネスの拡大
- 生活用品事業 ・新製品群の拡大と防災行政ラジオの売上拡大

② グローバル戦略の強化

- 精密部品事業 ・ベトナム3拠点のシナジー、営業共有化強化で新規顧客開拓・売上拡大
- 精密部品事業 ・中国市場、EU圏での事業(車載関連)拡大
- 生活用品事業 ・中国を中心としたアジア圏での事業拡大

③ 車載関連ビジネスの拡大

- 精密部品事業 ・EV化、自動運転化への対応
- 精密部品事業 ・五所川原新工場の稼働

④ 生産性の向上

- 共通 ・品質向上ともの造りの強化
(麗声実業もの造り改革プロジェクトの推進等)
- 共通 ・自動化の加速

グループガバナンスの強化

① 人材の育成

- 経営幹部、グローバル人材の育成

② グループ経営管理の向上

- ガバナンス、コンプライアンス、リスク管理の強化と定着
- 新市場区分変更と改訂コーポレートガバナンス・コード(CGC)への対応

ROEの改善

① 収益力の回復(単年度黒字の回復)

② 資産の有効活用

- 資産効率の向上、M&A、新分野への積極投資

企業価値の向上

- ① **ステークホルダーとのコミュニケーション**
 - ・SR(ステークホルダーリレーション)方針・実施計画の策定、実行
- ② **SDGs、ESG、CSRの推進**
 - ・CO2削減、リサイクル、廃棄物・製造副産物活用への取組
 - ・ダイバーシティの推進

合併による統合・融合の推進

- ① **機能別組織によるシナジーの発揮**
- ② **人員(配置)最適化、共通部門効率化へ向けた早期のシステム統一(人事、会計など)への取組**
- ③ **新人事制度導入による組織の融合**

計画数値の見直し

単年度黒字の回復

(百万円)	2018年度	2019年度				2020年度				2021年度			
	実績	計画	実績	計画比	前期比	計画	実績	計画比	前期比	計画	修正計画	計画比	前期比
売上高	31,016	31,500	29,911	-1,589	-1,105	32,800	27,304	-5,496	-2,606	34,000	27,600	-6,400	296
精密部品	21,042	21,500	20,787	-713	-255	22,600	17,958	-4,642	-2,829	23,600	18,800	-4,800	842
プレジジョン事業	11,621	11,700	11,608	-92	-13	12,100	9,882	-2,218	-1,725	12,800	10,300	-2,500	418
接続端子事業	9,421	9,800	9,179	-621	-242	10,500	8,075	-2,425	-1,104	10,800	8,500	-2,300	425
時計事業/生活用品	9,588	9,600	8,764	-836	-824	9,800	8,717	-1,083	-47	10,000	8,400	-1,600	-317
その他事業	383	400	358	-42	-25	400	629	229	271	400	400	0	-229
営業利益	761	800	-234	-1,034	-995	1,300	318	-982	552	1,700	330	-1,370	12
精密部品	1,394	1,200	659	-541	-735	1,500	488	-1,012	-171	1,680	830	-850	342
プレジジョン事業	727	600	45	-555	-682	770	60	-710	14	880	380	-500	320
接続端子事業	667	600	614	14	-53	730	428	-302	-186	800	450	-350	22
時計事業/生活用品	-255	0	-417	-417	-162	200	234	34	651	400	0	-400	-234
その他事業	59	70	55	-15	-4	70	98	28	43	80	60	-20	-38
連結修正	-438	-470	-532	-62	-94	-470	-503	-33	29	-460	-560	-100	-57
経常利益	913	900	-22	-922	-935	1,420	588	-832	610	1,800	530	-1,270	-58
当期利益	-264	500	-1,139	-1,639	-875	920	-1,262	-2,182	-122	1,170	330	-840	1,592
為替レート	111.00	120.00	108.83			120.00	110.71			120.00	105.00		

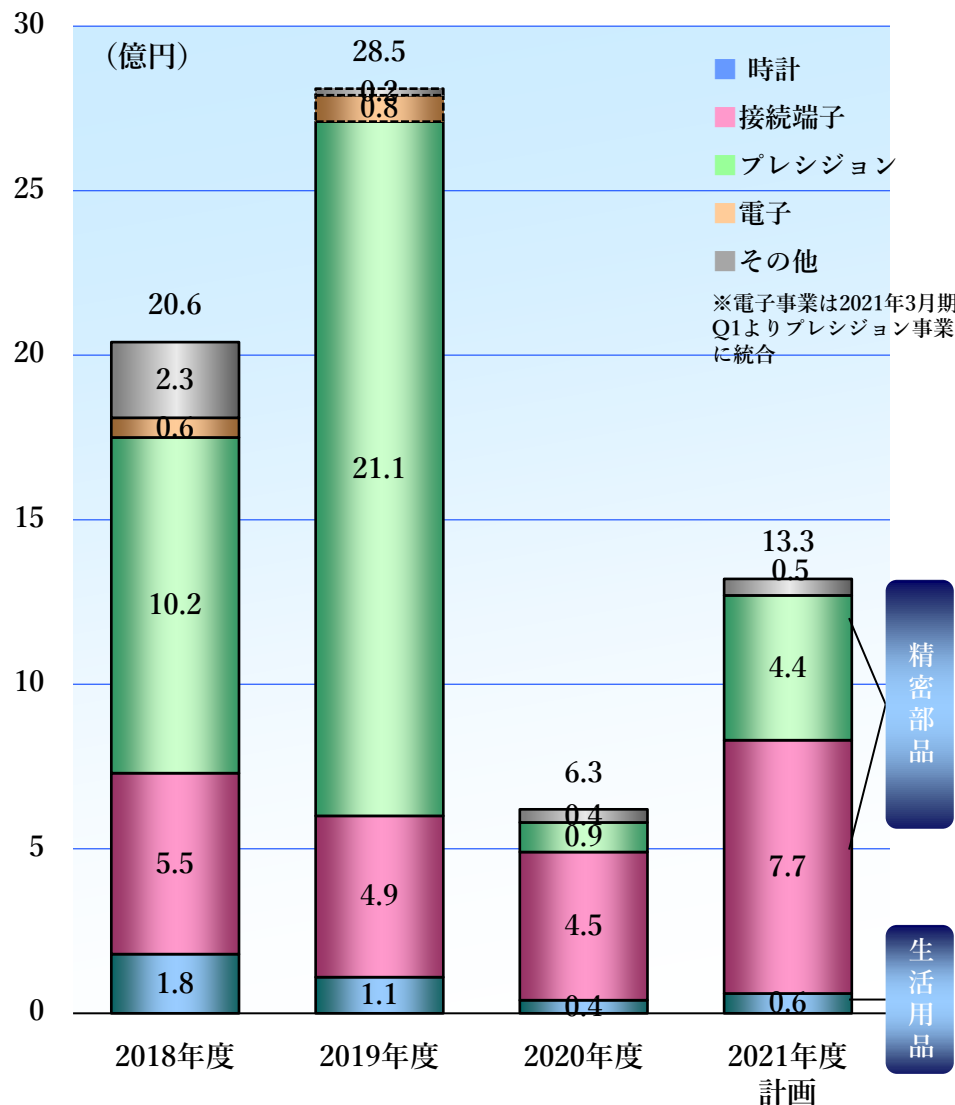
※ 計画：2019年5月30日発表『中期経営計画（2019.4～2022.3）』

※ 修正計画：2021年5月に公表いたしました業績予想に基づくものです。

※ 2021年度より、セグメント区分及び名称を変更いたします。

（接続端子事業及びプレジジョン事業を統合→「精密部品事業」、時計事業→「生活用品事業」）

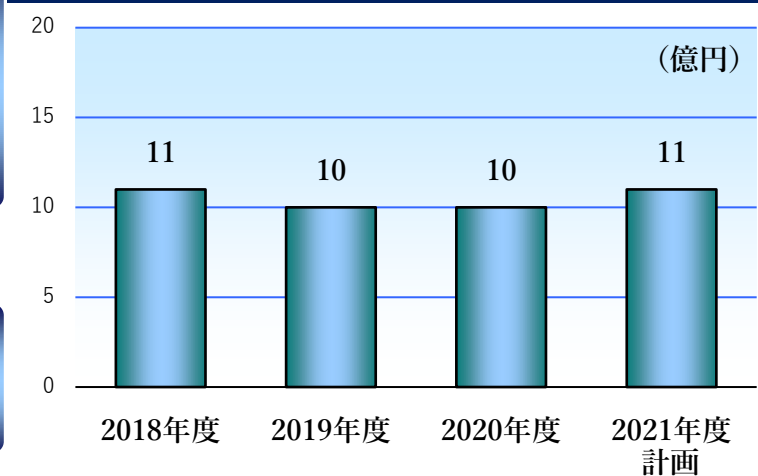
設備投資



設備投資（通期）計画

生活用品			(億円)
(時計)	0.6	金型、成形機	
精密部品			
(接続端子)	7.7	プレス機、加工機、成型機	
		固定資産修繕	
精密部品			
(プレシジョン)	4.4	加工機、成型機	
		固定資産修繕	
その他	0.5		
合計	13.3		

減価償却費



新しいRHYTHM 事業概要



生活用品

BtoC

クロック、ウォッチ、防災行政ラジオ、USBファン・加湿器等の「快適品」等を扱う時計事業は「生活用品事業」へ名称変更。

話題のJ-POPメロディ収録
新感覚アミュージングクロック
「4MN555RH06」



防災行政ラジオ
「9ZQA36」



充電機能、LEDライト付防災クロック
(一般消費者向け)
「4RQ001-003」 (2021年7月発売予定)



2021 BERING
New Collection
ステンレスリンクの
マルチファンクション「Classic Link」

精密部品

BtoB

精密金型、精密備品等を扱う接続端子事業とプレシジョン事業を統合し、「精密部品事業」に変更。

例えばこんなところに...

In these familiar places, for example...

プラスチック部品(鏡筒)
Plastic parts (lens tubes)

センシングカメラ
Sensing camera



プレス部品(オリフィスプレート)
Stamper parts (orifice plates)

エンジン内 燃料噴射装置
Fuel injection systems in engines

各種端子
Terminals

パワートレイン電源、
車載充電器、
カーオーディオ、
ドアミラー開閉制御
Powertrains, car audio,
door mirror opening/
closing controllers



ソレノイドコイル
Solenoid Coil

エンジン内 バルブタイミングシステム
Valve timing systems in engines



2重反転モバイルファンシリーズの新商品
「Silky Wind Handy Fan S」

国内基幹3社が合併、『リズム株式会社』として発足



リズム株式会社

10月、リズム時計、東北リズム、リズム協伸が合併し、商号を「リズム株式会社」に変更いたしました。
収益力の強化と持続的な発展のため、①ガバナンスの強化、②グループインフラの有効活用、③共通部門の効率化、④人員の最適化に取り組み、風通しの良い、活気あふれる企業を目指して企業風土改革を推進してまいります。

リズム株式会社 創立70周年

11月、リズム時計工業の創立から70周年を迎え、これを記念し各種記念事業を実施いたしました。



記念モデル販売

70周年を記念した
薩摩切子時計、
有田焼時計を販売
いたしました。



社章バッジ

グループ全従業員に社章バッジを配布いたしました。

浦和レッズ リズム冠試合



9月、埼玉スタジアムにて当社が冠パートナーとなった浦和レッズ対FC東京戦が行われました。2021年度はサッカースクール等の活動を通じて地域の方々のところをより豊かに育む取組み「ハートフルクラブ」にパートナーとして協賛し、今後も地域貢献活動に参画してまいります。

SDGs関連商品の販売



グループ会社アイ・ネクストジーイーが取り扱うスウェーデンのウォッチブランド「TRIWA（トリワ）」では、海洋プラスチックゴミや違法銃器（Humanium Metal）を原料としたリサイクルウォッチ等、SDGs関連商品を販売しております。
メディアでも度々取り上げられ、大きな反響をいただいております。

時の記念日100周年企画展

時の記念日100周年となる2020年、上野の国立科学博物館にて「時の記念日100周年企画展『時』展覧会2020」が開催され、当社からもカッコー時計、からくり時計、有田焼置き時計等を出展いたしました。



時計の寄贈

これまでの寄贈件数 **860**施設

* 2000年～2020年の合計
* 児童施設のみカウント（役所への寄贈含まず）

当社では創立50周年の2000年より毎年6月10日の時の記念日に埼玉県内の児童施設へ時計の寄贈を行っております。2020年度は寄贈先の保育園から手作りの感謝状をいただきました。



本資料は当社をご理解いただくために作成されたものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

広報IR担当窓口

リズム株式会社

経営企画部 相澤(アイザワ)

作田(サクダ)

電話 048-643-7241(経営企画部直通)